

IOWN 実現に向けた APN と光アクセスの最先端

— 講師 — 日本電信電話(株) NTT アクセスサービスシステム研究所
光アクセス基盤プロジェクト プロジェクトマネージャ
主席研究員 吉田 智暁 氏

日時 2025年1月10日(金) 午後1時30分～3時
受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

社会・産業のデジタル化やリモートワールドの進展に伴い、通信ネットワークに接続する拠点や低遅延性に期待が高まっている。これらのニーズに対応するべく NTT は IOWN 構想の実現に向けて、光ファイバが有する大容量、長距離、波長多重伝送能力を活かしたオールフォトニクスネットワーク (APN) の研究開発を行っている。

本講演では APN 実現に向けたネットワークの研究開発、光アクセス伝送・システム技術の最新動向について述べる。

1. IOWN 構想
2. オールフォトニクスネットワーク (APN)
3. IOWN Global Forum
4. End-End 光パス、光トランシーバの遠隔制御
5. APN コントローラ、Photonic Exchange (Ph-EX)、Photonic Gateway (Ph-GW)
6. 質疑応答/名刺交換

PROFILE 吉田 智暁(よしだ ともあき)氏

1998年 日本電信電話株式会社 (NTT) 入社。マルチメディアシステム開発推進センタにて ATM 光アクセスシステム開発に従事した後、2000年より NTT アクセスサービスシステム研究所に所属。以来、10G 級次世代光アクセスシステムおよび WDM/TDM-PON の研究開発、NG-PON2 の標準化、APN における光アクセス技術の研究等に従事。現在 NTT アクセスサービスシステム研究所プロジェクトマネージャ、主席研究員、博士(工学)。

